



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和7年12月号

私たちにできること



教育目標
人間性豊かで
たくましい子

11月は、人権月間でした。みなさんには、人権について、普段より少し深く考える機会をもったことと思います。世の中には、人権問題だけでなく、温暖化、貧困、戦争など様々な問題が数多くあります。そして、また新しい問題が生まれてきているのが現状です。本校では、各学年でいじめ問題についても考えてきました。これもまた、すぐに解決するにはとても難しい問題です。

これらの問題に対して、私たちができることは何でしょう。

南アメリカの先住民には次のようなお話を伝わっています。

あるとき森が燃えていました。

森の生き物たちは、われ先にと逃げていきました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり

くちばしで水のしづくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます

動物たちがそれを見て 「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑っています

クリキンディはこう答えました。

「私には、私にできることをしているの」



私たちの力は小さいかもしれません、無力ではありません。一人の力ではどうにもならないと思えるような問題でも、私たちにはできることができます。

それは、4年生のみなさんが磯ノ浦の砂浜に落ちていた数えきれないほどのゴミを、一つずつ拾つて捨ててくれたように、ごみを減らすことかもしれません。また、児童会のみなさんが、朝、校門に立って全校のみなさんに元気にあいさつしてくれることで、普段は、あまり出会わぬあいさつしたことなかった人と、自分から気持ちのよいあいさつをすることかもしれません。

そして、一生懸命頑張る児童のみなさんの周りには、みなさんを応援しようとする人がたくさんいます。そして、みんなが問題を解決しようとしたとき、きっときっとみんなを助けてくれようとする人が現れます。

湊小学校の先生たちは、みんなが問題を解決しようと描いた夢や希望、それが叶うよう、心から願っています。そして、みんなをこれからも応援していきます。

2026年がみんなにとって素晴らしい年でありますように。

そして、みんなが生きていく世界が、みんな一人ひとりの力によってより素晴らしいものへとなっていましたように。